

【様式】 第 2 号の 1 ～ 4 ―①

大学・短期大学・高等専門学校

(注) 様式第 2 号の 1 ―①

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第 2 号の 1 ―②を用いること。

(注) 様式第 2 号の 2 ―①

※国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第 2 号の 2 ―②を用いること。

(注) 様式第 2 号の 4 ―①

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第 2 号の 4 ―②を用いること。

(申請書を作成する際には、1 頁目を削除すること)

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	函館大谷短期大学
設置者名	学校法人 函館大谷学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門科目	合計		
	ビジネス情報学科	夜・通信			14	14	7	
	こども学科	夜・通信			14	14	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

公表方法：本学ホームページ ビジネス情報学科・こども学科 http://hakodate-otani.ac.jp/disclosure/pdf/class_list2025.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	函館大谷短期大学
設置者名	学校法人 函館大谷学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

公表方法：本学園ホームページ「役員等名簿」参照
<http://www.hakodate-otani.jp/finance.php>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	寺院住職	令和7年6月17日～ 選任後3年以内に終了する 会計年度のうち最終の ものに関する定時評議員 会の終結の時まで	地域連携
非常勤	会社役員	令和7年6月17日～ 選任後3年以内に終了する 会計年度のうち最終の ものに関する定時評議員 会の終結の時まで	経営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	函館大谷短期大学
設置者名	学校法人 函館大谷学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画書(シラバス)については、毎年各担当教員(専任・非常勤)が、半期科目は15回、通年科目は30回の講義内容を記したものを作成し、全体を事務局(教務係)が集約している。 この授業計画書には、 ①授業概要、②到達目標、③授業の方法、④予習・復習等及び必要時間、⑤履修条件⑥授業計画(上記記載済)、⑦教科書・参考文献、⑧課題(レポート・テストを含む)に対するフィードバックの方法、⑨学習成果との関連、⑩卒業認定・学位授与の方針との関連、⑪成績評価の方法及び基準、⑫実務経験と担当科目内容との関連を示しており、授業の内容の他に授業の方法や到達目標がわかるものとなっている。 この授業計画書は、年度初めに、各学年、各学科の学生全員及び授業担当教員に配布され、学生は授業の内容等を知ることが出来る。授業計画書は本学ホームページにて公開している。	
授業計画書の公表方法	公表方法：本学ホームページ ビジネス情報学科 (2025年度入学生用講義概要) https://hakodate-otani.ac.jp/subject/pdf/2025_business.pdf こども学科 (2025年度入学生用講義概要) https://hakodate-otani.ac.jp/subject/pdf/2025_kodomo.pdf ビジネス情報学科 (2024年度入学生用講義概要) https://hakodate-otani.ac.jp/subject/pdf/2024_business.pdf こども学科 (2024年度入学生用講義概要) https://hakodate-otani.ac.jp/subject/pdf/2024_kodomo.pdf

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 単位認定に関しては、各々の科目で評価の方法は異なるが、前述の授業計画書(シラバス)内でその評価方法を明記しており、定期試験や作品、レポート、実技、その他の内容を基に適正に評価を行っている。 また、履修の認定に関しては、毎年初めに各学生が1週間程度のガイダンス期間を経た後、事務局(教務係)に履修登録用紙を提出することで履修を認定している。 履修単位数は、学修できる可能な範囲として、 ・ビジネス情報学科 48単位 ・こども学科 65単位 を、1年で登録できる単位数の上限として定めている。 なお、履修の取り消しに関して学期ごとに、授業開始からおおよそ1ヶ月以内を目途に取り消し期間を設けている。
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本学での成績評価は、秀、優、良、可、不可、の5段階評価で行っており、この成績評価をGPに置き換えると、秀が4、優が3、良が2、可が1、不可が0となる。 このGPに履修した授業科目ごとの単位数を乗じ、この合計を履修単位数の合計で除して算出された数値をGPAとしている。このGPAは客観的な成績評価の指標として学生に通知するだけでなく、学生指導に活用している。また、2年次年度末のGPAが著しく低い学生に対して、学長より退学が勧告されるなどの活用方法がある。
客観的な指標の 算出方法の公表方法	公表方法：本学ホームページ http://hakodate-otani.ac.jp/disclosure/pdf/evaluation2020.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学各学科の卒業認定・学位授与の方針は次のとおりです。

【ビジネス情報学科】

学則に基づき、修業年限以上在籍し所定の単位数を修得するとともに、以下の素養を身につけた学生に対して短期大学士（生活経済）の学位を授与している。

1. ビジネスの専門知識や技能を修得すると同時に、ビジネスの現場で対応できる「人間性」を獲得する。
2. 一般教養・専門知識を身につけ、専門性・コミュニケーション能力によって、自主性・積極的に社会における経済活動ができる。
3. 地域社会に貢献する奉仕の精神を持ち、総合的な人間力、職業人としての資格の向上を継続的に図ることができる。

以上のように、知識・技能だけではなく、人として、社会人として自らを向上させる姿勢を求めている。

なお、策定に関しては、毎年度末に反省を行い現実に即した内容であるかどうかの見直しを行っている。策定された方針に関しては、下記の URL での公表の他、学生便覧および要覧にも記載を行っており、在学生や本学への入学を希望する生徒等にも公表している。また、適切な実施を行うために、カリキュラムの見直しを毎年行っている。

【こども学科】

学則に基づき、卒業認定を行っており、修業年限以上在籍し所定の単位数を修得するとともに、以下の素養を身につけた学生に対して短期大学士（保育学）の学位を授与している。

1. 保育の内容や方法を習得すると同時に、様々な子どもに対応できる人間性を獲得する。
2. 子どもの実態を理解し、豊かな表現力・コミュニケーションによって、主体的・積極的に子どもの活動を支援できる。
3. 地域からの要望や地域の活動に貢献する奉仕の精神を持ち、総合的な人間力や保育者としての資質の向上を継続的に図ることができる。

以上のように、知識・技能だけではなく、人として、社会人として自らを向上させる姿勢を求めている。

なお、卒業認定に関する基本方針について、ホームページにて公表し、卒業認定の方針を適切に実施するために本学科では、各科目の達成目標と卒業認定に関する方針と関連づけ、学科会議等を通じてそれらの方針が達成できるよう取り組んでいる。

また、本学の卒業要件は、学則に基づき、2 年以上在学し、次の 1 号及び 2 号により、ビジネス情報学科は 62 単位以上、こども学科は 66 単位以上修得しなければならない。

1. ビジネス情報学科

教養系授業科目 14 単位以上、専門系授業科目 48 単位以上

2. こども学科

教養教育科目 14 単位以上、専門教育科目 52 単位以上

なお、卒業判定については、上記の条件を満たし、教授会の承認を得た学生に関して、学長が卒業を認定している。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	公表方法：本学ホームページ ビジネス情報学科： http://hakodate-otani.ac.jp/subject/business/pdf/educationalpolicy2024.pdf こども学科： http://hakodate-otani.ac.jp/subject/children/pdf/educationalpolicy2024.pdf
----------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	函館大谷短期大学
設置者名	学校法人 函館大谷学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学園ホームページ 「財務情報」 参照 http://www.hakodate-otani.jp/finance.php
収支計算書又は損益計算書	本学園ホームページ 「財務情報」 参照 http://www.hakodate-otani.jp/finance.php
財産目録	本学園ホームページ 「財務情報」 参照 http://www.hakodate-otani.jp/finance.php
事業報告書	本学園ホームページ 「財務情報」 参照 http://www.hakodate-otani.jp/finance.php
監事による監査報告(書)	本学園ホームページ 「財務情報」 参照 http://www.hakodate-otani.jp/finance.php

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:
公表方法:	
中長期計画(名称:	対象年度:
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 本学ホームページ(情報公開) 「自己点検・評価報告書」 参照 http://hakodate-otani.ac.jp/disclosure/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	ビジネス情報学科・こども学科
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ）	http://hakodate-otani.ac.jp/disclosure/pdf/conferral.pdf
(概要)	
【ビジネス情報学科】	自ら考え、自ら行動することを通して人を理解し、社会のニーズに的確に対応できる知識と技能を身につけながら、地域社会に貢献できる人材を育成することを教育研究上の目的としている。
【こども学科】	保育者として必要な基礎知識、技能を学ぶと同時に、職業人としての人格向上を目指し、すべての人に対してあたたかな心と優しさを持ち、ともに育ちあうことを大切にする人間性豊かな保育者・支援者の育成を教育研究上の目的としている。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ）	ビジネス情報学科 http://hakodate-otani.ac.jp/subject/business/pdf/educationalpolicy2024.pdf こども学科 http://hakodate-otani.ac.jp/subject/children/pdf/educationalpolicy2024.pdf
(概要)	
【ビジネス情報学科】	学則に基づき、修業年限以上在籍し所定の単位数を修得するとともに、以下の素養を身につけた学生に対して短期大学士（生活経済）の学位を授与している。 1. ビジネスの専門知識や技能を修得すると同時に、ビジネスの現場で対応できる「人間性」を獲得する。 2. 一般教養・専門知識を身につけ、専門性・コミュニケーション能力によって、自主的・積極的に社会における経済活動ができる。 3. 地域社会に貢献する奉仕の精神を持ち、総合的な人間力、職業人としての資格の向上を継続的に図ることができる。 以上のように、知識・技能だけではなく、人として、社会人として自らを向上させる姿勢を求めている。
【こども学科】	学則に基づき、修業年限以上在籍し所定の単位数を修得するとともに、次の 3 点の素養を身につけた学生に対して短期大学士（保育学）の学位を授与している。 1. 保育の内容や方法を習得すると同時に、様々な子どもに対応できる人間性を獲得する。 2. 子どもの実態を理解し、主体的・積極的に子どもの活動を支援できる。 3. 地域からの要望に貢献する奉仕の精神を持ち、資質の向上を図ることができる。 以上のように、知識・技能だけではなく、人として、社会人として自らを向上させる姿勢を求めている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ）

ビジネス情報学科

<http://hakodate-otani.ac.jp/subject/business/pdf/educationalpolicy2024.pdf>

こども学科

<http://hakodate-otani.ac.jp/subject/children/pdf/educationalpolicy2024.pdf>

（概要）

【ビジネス情報学科】

短期大学士として必要な教養を高めつつ、職業人としての専門性を身につけさせると共に、キャリアデザインに応じた知識および資格取得を目的とし、地域に根ざし地域と連携した教育内容を実施するため、以下の視点を重視している。

1. 人間理解およびビジネス専門知識や技能を修得することが可能な教育課程の編成
2. ビジネス現場の見学および体験を通じ、学習した理論を明確に理解すると共に、実践につなげられるカリキュラム編成
3. 社会ニーズの高い資格を、単位修得と同時に取得できる教育課程の編成と共に受験による資格取得への充実した資格対策カリキュラムの編成
4. 学生のニーズに対応した、「経営・マーケティング」「情報」「コミュニケーション心理」という3つのカテゴリーによる教育課程の編成
5. 専門ゼミの研究活動による専門性・研究能力修得の重視

これらの視点を基に、シラバスにおいて各科目の授業のねらい、到達目標、授業の方法、授業計画、成績評価の方法、成績評価の基準、事前事後の学習内容および教科書・参考文献などを明示している。

【こども学科】

幼稚園教諭、保育士および保育教諭に向けた養成課程であるため、教員免許法および指定保育士養成施設保育士養成課程に定められたカリキュラム編成とすることを原則としたうえで、次の6点を重視している。

1. 人間理解および職業人としての専門性を習得することが可能な教育課程の編成
2. カリキュラムマップによる卒業要件と免許・資格取得へのプロセスの明確化
3. 幼稚園教諭二種免許状および保育士資格の同時取得を前提とした教育課程の編成
4. 体験的・実践的学習展開を重視した1年次からの実習カリキュラムの編成
5. 学生のニーズに対応した3コースによる教育課程の編成
6. 様々な体験活動による実践力習得の重視

これらの視点を基に、シラバスにおいて各科目の授業のねらい、到達目標、授業の方法、授業計画、成績評価の方法、成績評価の基準、事前事後の学習内容、および教科書・参考文献などを明示している。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページ）

ビジネス情報学科

<http://hakodate-otani.ac.jp/subject/business/pdf/educationalpolicy2024.pdf>

こども学科

<http://hakodate-otani.ac.jp/subject/children/pdf/educationalpolicy2024.pdf>

（概要）

【ビジネス情報学科】

1. 様々な経済活動、特に地域の経済社会に関心があり、その地域社会のニーズに的確に対応できるビジネス知識と技能を学ぶことを強く望んでいること。また将来、経済活動を通じて地域社会に貢献しようとする意欲を持っていること。〔学習する態度〕
2. 高等学校での学習内容を理解し、本学科での勉学に必要な基礎知識(特に漢字および文章表現の国語能力)を有していること。また、今までの経験で培った特技を今後の学びに活かせること。〔知識・技能〕
3. 物事を多面的に捉え、自ら考え、自ら行動するという主体性を持ち、自分を成長させ、将来の道を開こうとすると共に、自分の意思を他人にしっかり伝えることができること。〔思考力・コミュニケーション力〕

以上の3要素に基づき、次の4点で入学生を求めている。

1. 他者への優しさがあり、協働できる人
2. 自分の適性を把握し、夢を見つけ、将来の道を開こうとする人
3. ビジネスの専門知識や技能、多くの資格取得を目指す人
4. 地域社会の発展や貢献に意欲を持ち、主体的に行動する意欲のある人

これらの観点を、「志望動機」「態度」「人間性」「協調性」「主体性」「学習意欲」「基礎資質」「理解力」「コミュニケーション力」「健康状態」「表現力（小論文・自由課題発表）」の11項目により評価している。

【こども学科】

1. 幼児教育や保育に対する興味や関心があり、その職業に就くための国家資格取得を強く望んでいること。〔学習する態度〕
2. 本学科での勉学に必要な基礎知識(漢字能力や言葉・文章表現力)を有していること。また、高等学校での授業やクラブ、ボランティア活動等で培った技能を、今後の学びに活かせること。〔知識・技能〕
3. 音楽・美術・体育のいずれかの能力を表現する(発揮する)方法を見つけ出し、それらに楽しみを感じることができること。また、自分の考えを持ちながらも多様な人々と協働していけること。〔思考力・表現力〕

以上の3要素に基づき、次の視点で入学生を求めている。

人としてのあたたかさ、他者への優しさ、心豊かな表現力、前向きな努力、適切なコミュニケーション力、を保有している人

これらの観点を、「志望動機」「態度」「人間性」「協調性」「主体性」「学習意欲」「基礎資質」「理解力」「表現力」「健康状態」「文章表現力（小論文）」の11項目により評価している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学ホームページ

<http://hakodate-otani.ac.jp/disclosure/pdf/organization2025.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1 人	－					1 人
ビジネス情報学科	－	2 人	2 人	1 人	人	人	5 人
こども学科	－	4 人	0 人	3 人	1 人	人	8 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		24 人					24 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：本学ホームページ http://hakodate-otani.ac.jp/information/teacher.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
ビジネス情報 学科	40 人	42 人	105.0%	80 人	78 人	97.5%	人	人
こども学科	50 人	31 人	62.0%	100 人	60 人	60.0%	人	人
合計	90 人	73 人	81.1%	180 人	138 人	76.6%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
ビジネス情報 学科	16 人 (100%)	1 人 (6%)	15 人 (94%)	0 人 (0%)
こども学科	33 人 (100%)	0 人 (0%)	31 人 (93%)	2 人 (7%)
合計	49 人 (100%)	1 人 (2%)	46 人 (94%)	2 人 (4%)
(主な進学先・就職先)（任意記載事項）				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 授業計画書(シラバス)については、毎年各担当教員(専任・非常勤)が、半期科目は15回、通年科目は30回の講義内容を記したものを作成し、全体を事務局(教務係)が集約している。 この授業計画書には、①授業概要、②到達目標、③授業の方法、④予習・復習等及び必要時間、⑤履修条件、⑥授業計画(上記記載済)、⑦教科書・参考文献、⑧課題(レポート・テストを含む)に対するフィードバックの方法、⑨学習成果との関連、⑩卒業認定・学位授与の方針との関連、⑪成績評価の方法及び基準、⑫実務経験と担当科目内容との関連を示しており、授業の内容の他に授業の方法や到達目標がわかるものとなっている。 この授業計画書は、年度初めに、各学年、各学科の学生全員及び授業担当教員に配布され、学生は授業の内容等を知ることが出来る。授業計画書は本学ホームページにて公開している。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
単位認定に関しては、各々の科目で評価の方法は異なるが、前述の授業計画書(シラバス)内でその評価方法を明記しており、定期試験や作品・レポート・実技の内容を基に適正に評価を行っている。 卒業の認定に当たって、各学科の基準は次のとおりとなります。 ビジネス情報学科では、学則に基づき、修業年限以上在籍し所定の単位数を修得するとともに、以下の素養を身につけた学生に対して短期大学士（生活経済）の学位を授与している。 1. ビジネスの専門知識や技能を修得すると同時に、ビジネスの現場で対応できる「人間性」を獲得する。 2. 一般教養・専門知識を身につけ、専門性・コミュニケーション能力によって、自主性・積極的に社会における経済活動ができる。 3. 地域社会に貢献する奉仕の精神を持ち、総合的な人間力、職業人としての資格の向上を継続的に図ることができる。 以上のように、知識・技能だけではなく、人として、社会人として自らを向上させる姿勢を求めている。 こども学科では、学則に基づき、卒業認定を行っており、修業年限以上在籍し所定の単位数を修得するとともに、以下の素養を身につけた学生に対して短期大学士（保育学）の学位を授与している。 1. 保育の内容や方法を習得すると同時に、様々な子どもに対応できる人間性を獲得する。 2. 子どもの実態を理解し、豊かな表現力・コミュニケーションによって、主体的・積極的に子どもの活動を支援できる。 3. 地域からの要望や地域の活動に貢献する奉仕の精神を持ち、総合的な人間力や保育者としての資質の向上を継続的に図ることができる。 以上のように、知識・技能だけではなく、人として、社会人として自らを向上させる姿勢を求めている。				
卒業に必要となる 単位数	学科名	卒業又は修了に必要な 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	ビジネス情報学科	62 単位	有・無	48 単位
	こども学科	66 単位	有・無	65 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：本学ホームページ http://hakodate-otani.ac.jp/disclosure		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学ホームページ http://hakodate-otani.ac.jp/campuslife/facilities.html
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	ビジネス 情報学科 (1年次)	930,000 円	220,000 円	20,000 円	新入生研修費
	ビジネス 情報学科 (2年次)	930,000 円	円	30,000 円	実習費
	こども学科 (1年次)	930,000 円	220,000 円	20,000 円	新入生研修費
	こども学科 (2年次)	930,000 円	円	120,000 円	実習費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 修学に係る支援について、入学選抜における特待生制度、本学特別奨学金、本学学業優秀生奨学金、東本願寺奨学金、日本学生支援機構奨学金等の奨学金支援制度を保有している。 また、そのほかにもアパート等にて生活している学生に対しては、申請により家賃助成金の給付としての自宅外通学助成給付金制度を備えるなど、学生の修学を支援する体制を整えている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 本学における進路選択に係る支援については、主に学生支援部の教職員や各クラスのアドバイザー、ゼミ担当教員が支援している。 1. 各種セミナー、講座 ビジネス情報学科は、ジョブカフェ・ジョブサロン函館と連携し、1年生を対象に外部講師を招いて「働くことについて」と題したセミナーを開催し、その後10月から11月に企業見学を実施する。また、キャリアデザインの授業では、業界研究の一環として企業から講話をいただくことで、業界や業種の理解を深める取り組みを行っている。3月には学内において合同企業説明会を開催し、進路選択のサポートを行っている。 こども学科では、北海道私立幼稚園協会に依頼し、「幼稚園、認定こども園キャラバン」を開催。各実習では知り得なかった現職教諭の体験談、処遇、職場の様子などを理解し、将来に自分自身が進むべき道について理解を深めるとともに、就職に対するミスマッチを防ぎ、進路選択に役立てることができるようにしている。 2. 進路動向調査 年に2回、進路動向調査を実施。学生の希望に沿った就職案内ができるように、担当教員だけでなく全教員に周知し、就職へのアプローチをしている。また、希望の職種内容を踏まえたインターンシップやボランティアの案内を行うことで、学生自身の視野を広げ、進路選択に役立てるサポートを行っている。 3. 個別面談 クラスアドバイザー、ゼミ担当教員との個人面談において、進路選択の相談を行っている。 なお、ビジネス情報学科においては、2年生の4月にハローワークの学卒ジョブサポーターと個人面談を実施し、就職に対する考え方などの相談から、就職希望の企業選択への足掛かりにしている。 4. 進学支援

四年制大学に編入を希望する学生に対しては、面談を行ったうえで学生本人の希望にあった大学の選定や、受験、合格までのサポートを実施している。 5. インターンシップの実施 ビジネス情報学科においては10日間のインターンシップを実施し、進路選択のきっかけにもしている。 6. ボランティア支援 ボランティアに参加することで各幼稚園、保育園、認定こども園などの様子を伺うことができることから、積極的なアプローチを実施している。また、学生がボランティアに参加しやすいよう、本学が交通費の一部補助をしている。（有償ボランティア）
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 （概要） 本学における学生の心身の健康に係る支援については、主に学生支援部や各クラスのアドバイザー、ゼミ担当教員が支援している。 1. 健康調査票による状況把握 入学生全員に「学生健康調査」を実施し、学生支援部が心身の状況を確認してアドバイザーと連携して学生個人の健康状態の把握とサポートに努めている。 2. 身体測定と健康診断の実施 本学においては、4月に身体測定（身長、体重、視力、血圧）を行い、5月に内科検診と胸部レントゲン検査を実施している。 3. 学生相談室の設置 本学では、学生支援部が「こころの相談室」を開室している。相談は予約制で、学業や対人関係、心の健康等について専門教員が学生相談室で対応している。 4. オフィスアワー オフィスアワーとは、学生が授業のことや学生生活のことなどについて、質問・相談あるいは個人的に指導を受けるために設定された時間帯のことで、学生は充実した学生生活を過ごすために、この時間帯を有効に活用している。）

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学ホームページ http://www.hakodate-otani.ac.jp/disclosure/index.html

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F201310100435
学校名（〇〇大学 等）	函館大谷短期大学
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人 函館大谷学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		36人（－）人	31人（－）人	37人（－）人
内 訳	第Ⅰ区分	22人	20人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅱ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅲ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－	－	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（0）人
合計（年間）				37人（1）人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	人
----	---

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	—	0人	—
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	—	0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良である
ことについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたこと
により認定の取消しを受けた者の数

退学	人
3月以上の停学	人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	人
訓告	人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	—	0人	—
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	—	—	—
計	—	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。